MODELLISTA

MSD12-42003

シグネチャーイルミ

取付・取扱要領書

この度はシグネチャーイルミ（MODELLISTA）をお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本書は本商品の取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品番	適合車種	備考
MSD12-42003	RAV4	-

・最新の適合情報は MODELLISTA カタログサイトをご覧ください。https://www.modellista.co.jp/

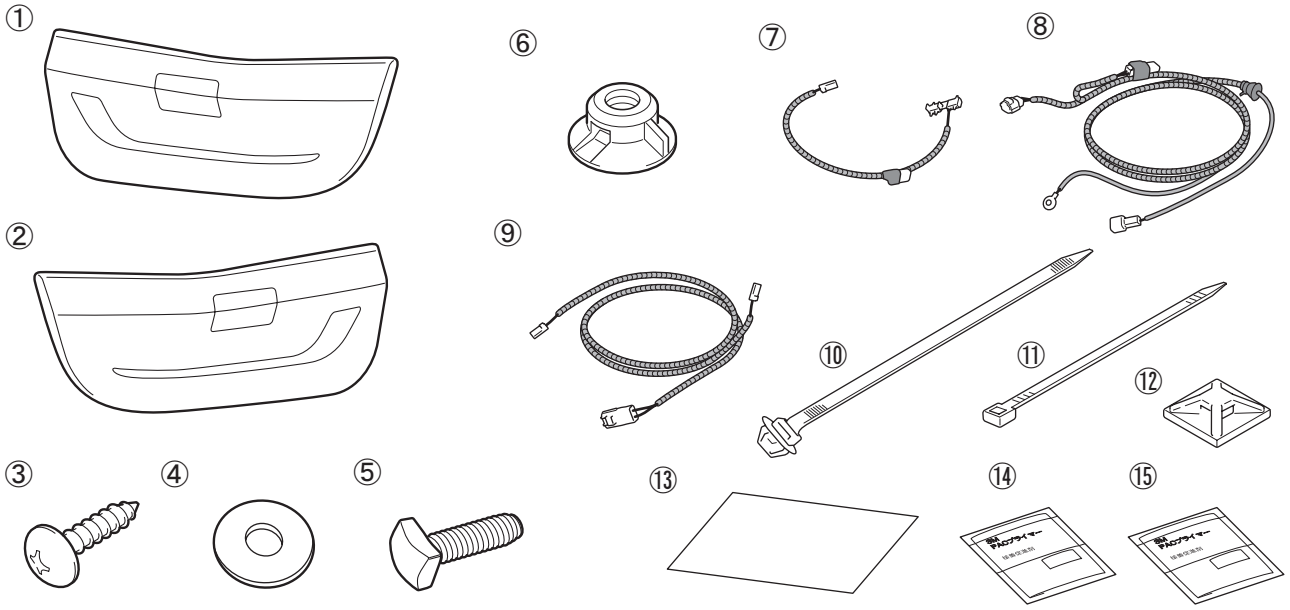
MODELLISTA

■ 構成部品

No.	部品名	品番	数量	備考
①	シグネチャーイルミRH	MSD12-42H01	1	
②	シグネチャーイルミLH	MSD12-42H02	1	
③	タッピングスクリュー	――――	4	M4×14mm
④	ワッシャー	――――	4	M4
⑤	四角座ボルト	――――	2	M6×20mm
⑥	樹脂ナット	――――	2	M6
⑦	ハーネスA	――――	1	電源
⑧	ハーネスB	――――	1	エンジンルーム
⑨	ハーネスC	――――	1	バンパー
⑩	結束バンド	――――	21	
⑪	結束バンド	――――	3	車両固定用
⑫	ホルダークランプ	――――	5	
⑬	型紙	――――	1	
⑭	PACプライマー（青袋）	08867-00230	1	K-500
⑮	PACプライマー（赤袋）	08867-00250	1	N210NT

※開梱時に本体破損がないこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。
※①、②の品番にはリペアパーツセット（MSD80-42H33）を含みます。
※モデリスタ フロントスポイラー（MSD41-42010/011）を同時装着する場合は、本製品を先に取り付けて下さい。

■ 構成部品図



■ショートパーツ（補給）

品番	備考
MSD80-42H33	③④⑤⑥⑬⑭⑮、及び両面テープ同梱

■ワイヤーハーネスキット（補給）

品番	備考
MSE04-42H01	③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮、及び両面テープ同梱

■取付け上のご注意（取付け作業者の方へ）

作業を行う前は必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。

⚠ 警 告　この警告に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。

⚠ 注 意　注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。

アドバイス　スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠やってはいけないこと　　❗必ず行っていただくこと

⚠ 警 告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項を守り作業を行ってください。
❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。
❗ 走行後のマフラーは大変高温になっています。冷めないまま作業を行った場合、火傷などの重大な危険性があります。必ずマフラーが完全に冷めたことを確認してから作業を行ってください。

⚠ 注 意

❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。
❗ エンジンルーム内、ラジエータキャップ付近に配線を通したり部品を取付ける際、腕等がラジエータキャップに接触しやすく、上着など着用している場合にラジエータキャップが緩んだことに気づけない場合があります。ラジエーターキャップと接触し緩んだ場合、オーバーヒートに繋がる可能性があります。ラジエータキャップに限らず、用品取付け作業後には作業部位周辺に異常がないかご注意ください。
❗ 本商品の装着により、タイヤとタイヤハウスとの隙間が少なくなる場合があります。洗車やタイヤ交換の際、手指を挟んだりぶつけたりしないよう、ご注意ください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール（IPA）を使用し、上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力が低下しますので再貼り付けはできません。
❗ 本商品の両面テープは、環境温度が 20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足らないと両面テープが剥がれます。
❗ 両面テープの圧着は 49N(5kgf) 以上（車両が軽く揺れる程度）で確実に行ってください。圧着が足らないと両面テープが剥がれます。
⃠ 本商品の取付け後 24 時間は、洗車や水（水拭きを含む）・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

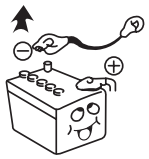
❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
❗ 本商品に塗装する際は、両面テープを全面マスキングしてください。
❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので 70℃以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
❗ 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

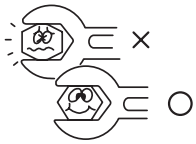
LEDランプ配線取付け上の注意事項

- ビニールテープをご使用の際は、 必ず難燃性の耐熱ビニールテープを使用してください。
  推奨品 : V9650-0484（耐熱ビニールテープ・灰色）
- バッテリー復元作業後は、 機能部品に初期化や調整が必要な場合があります。
  取付け作業後は必ず該当車両の修理書に従い、 初期化・調整作業の有無をご確認ください。



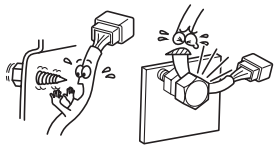
取付ける前に

・作業前に、 必ずバッテリーのマイナス側ケーブルをはずす。

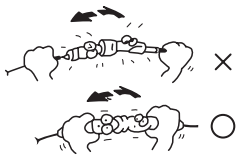


部品を取付ける際は

・部品サイズにあった工具を使用する。

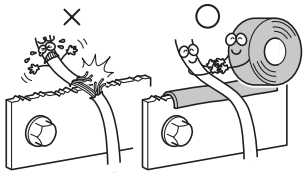


・部品の裏側に注意して、 配線の噛み込みやビスの接触、
断線に十分に注意する。



配線の取りまわしは

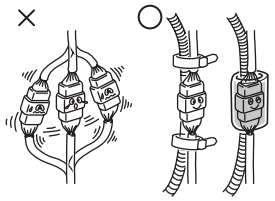
・コネクターは必ず本体を持ってはずし、 配線は引っ張らない。



・バリ・エッジ部は、 ガムテープ等で保護をする。



・コネクターは「カチッ」と、 音がするまで確実に接続して、
配線は無理なチカラで引っ張らない。



配線のクランプは

・結束バンドは配線が動かない程度に締めて、 締めすぎない。
・結束バンドの余った部分は、 エッジにならないようにカットする。
・カットした端末が、 ほかの配線と接触しないようにする。
・コネクターが振動により異音がしないように、 確実に固定する。

⚠ 注 意

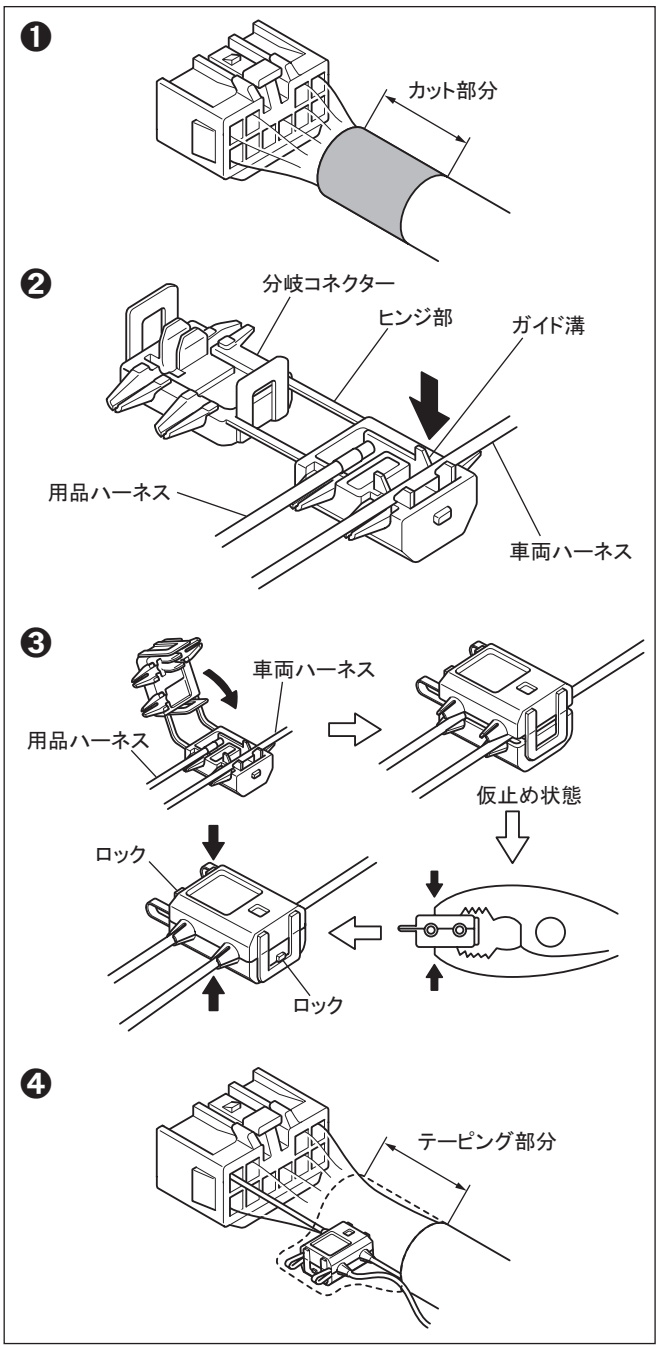
バッテリー接続中に作業を行う際は、 エアバックセンサー等に衝撃を与えないように
十分に注意して作業を行ってください。

■ 分岐コネクターの接続方法

分岐コネクター使用上の注意事項

1. 車両のビニールチューブ等をカットする際は、車両ハーネスを傷付けないよう充分注意してください。
2. 分岐コネクターは、他の用品が装着されている場合でも必ず、車両ハーネスに接続してください。
3. 分岐コネクター接続時に、クリック音と合わせてロック(2箇所)が確実に嵌合した事を確認してください。
4. 接続するコネクターの端子番号及び、用品ハーネスと車両ハーネスの線色を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。
5. 同一コネクターに複数の分岐コネクターを接続する場合は、接続位置をずらしてください。
6. ヒンジ部が破損しても確実にロック(2箇所)できれば性能上問題ありません。
7. 一度使用した分岐コネクターは再使用しないでください。誤って接続した場合、分岐コネクターを車両ハーネスに付けたまま用品ハーネスを切断し、ビニールテープで絶縁処理してください。

分岐コネクターの接続手順



❶ 接続する車両ハーネスがビニールチューブ、ビニールテープ及びコルゲートチューブで覆われている場合は、適量をカットしてください。

❷ 接続する車両ハーネスを確実にガイド溝へ挿入してください。

❸ 車両ハーネスをガイド溝に収めた後、分岐コネクターを折り返し、仮止め状態を作りプライヤー等の工具を使用して左右のロックがかかるまで確実に挟み込んでください。
(クリック音を確認)

❹ 分岐コネクターの異音防止のため、ビニールテープを巻いて処理してください。

■ 目次

品番・適合車種……1
構成部品……2
構成部品図……2
取付け上のご注意（取付け作業者の方へ）……3
分岐コネクターの接続方法……4
目次……5
取付けに必要な工具・保護具・消耗品……5
保証について……5
取付構成図……5
取付け要領……6 ～ 16
取付け完了後の点検・注意事項……16

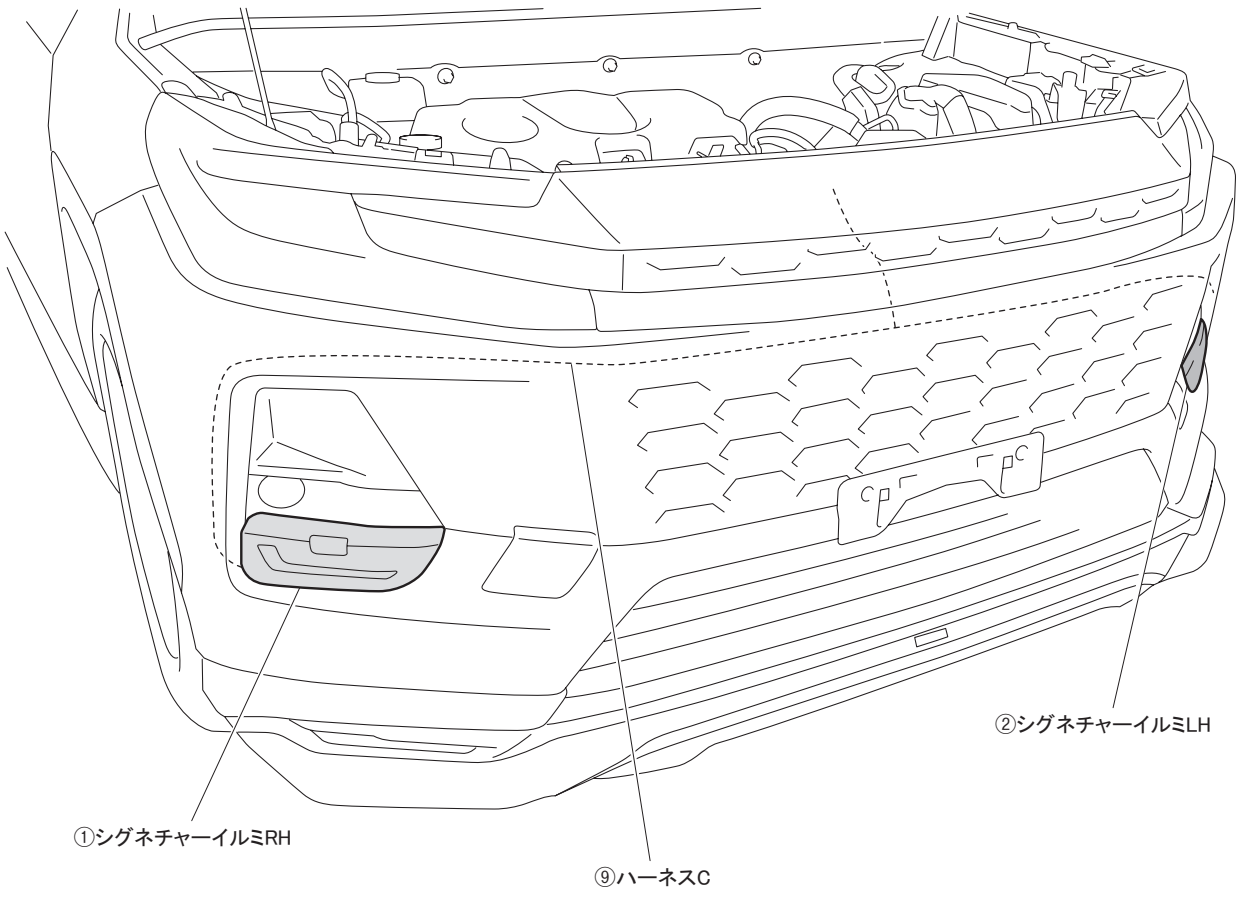
■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

・一般工具・クリップリムーバー・スケール・マスキングテープ・養生テープ・ガムテープ・ケガキ針
・電動ドリル・ドリル（φ3、φ6、φ8、φ10.0）・保護めがね・保護シート・清潔なウエス・超音波カッター
・イソプロピルアルコール（IPA）

■ 保証について

本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。
（1年、または20,000km走行時点のいずれか早い方まで）
※保証の詳細はMODELLISTAパーツカタログサイト＜https://www.modellista.co.jp/＞
「保証について」をご覧ください。

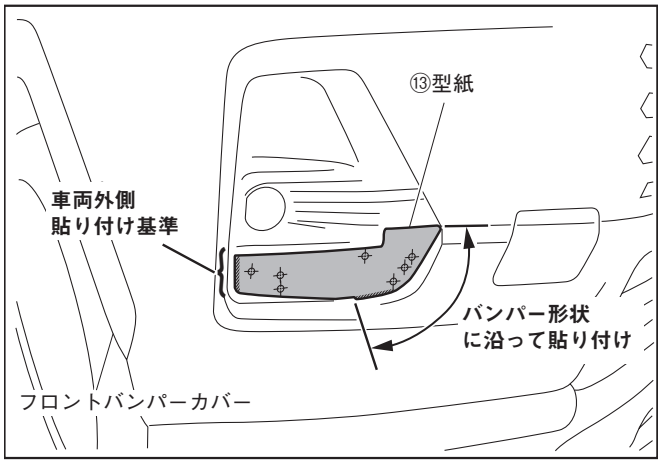
■ 取付け構成図



TT-GN-001

■ 取付け要領

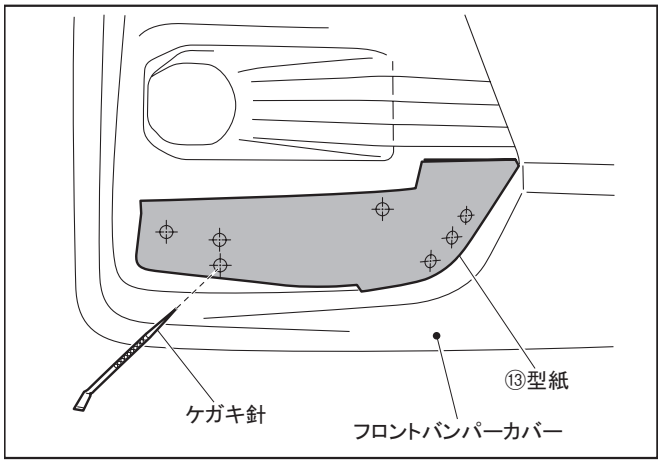
本書は、RH 側の取付け作業要領を記載していますが、LH 側も同様の手順で取付け作業を行ってください。



TT-GN-B02

・穴あけ加工

1. 型紙の基準に合わせて、フロントバンパーカバー右側に⑬型紙を貼り付ける。

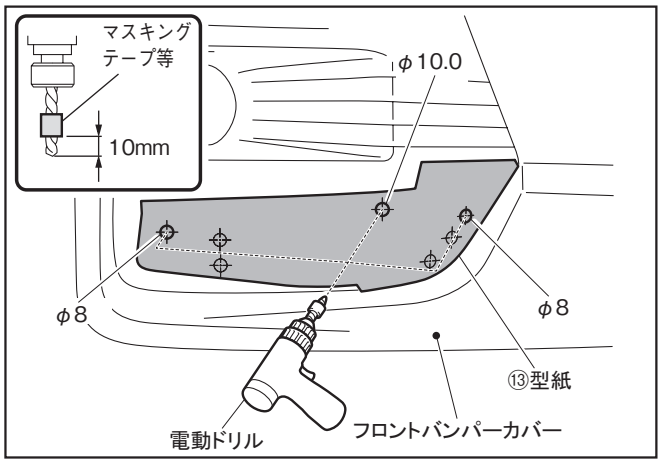


TT-GN-B03

2. 型紙の穴あけ位置中心（7 箇所）をケガキ針でマーキングする。

アドバイス

⑬型紙はまだ剥がさないでください。



TT-GE-B03

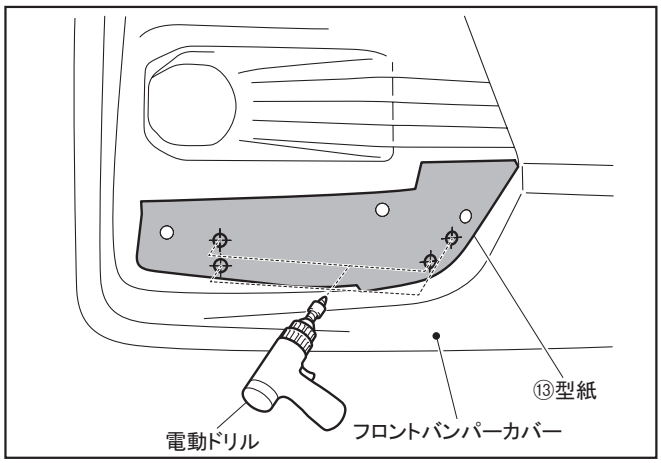
3. ドリル（φ 3、φ 6、φ 8）にストッパー（マスキングテープ等）をセットする。
4. フロントバンパーカバーのマーキング（2 箇所）に、電動ドリルでφ 3 →φ 6 →φ 8 の順番で穴を開ける。
5. ドリル（φ 3、φ 6、φ 10.0）にストッパー（マスキングテープ等）をセットする。
6. フロントバンパーカバーのマーキング（1 箇所）に、電動ドリルでφ 3 →φ 6 →φ 10.0 の順番で穴を開ける。

アドバイス

- ⑬型紙はまだ剥がさないでください。
- 穴あけはφ 8 とφ 10.0 がありますので間違えないようにしてください。

⚠ 注 意

- 電動ドリルは、穴を開ける面に対して垂直に当ててください。
- 電動ドリルを使用する際は必ず保護めがねを着用し、ドリルに巻き込まれる恐れがあるため手袋等は着用しないでください。

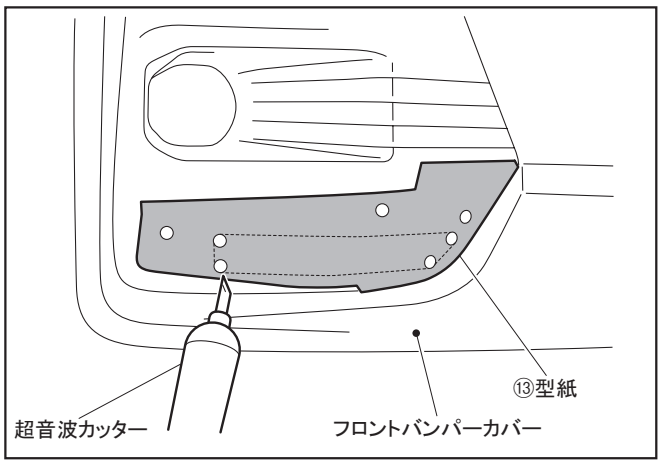


TT-GE-B03

7. フロントバンパーカバーのマーキング（4 箇所）に、電動ドリルでφ 3 →φ 6 →φ 8 の順番で穴を開ける。

アドバイス

この時点での加工穴（4 箇所）のバリ取りは不要です。加工穴は超音波カッターで切断する際に利用します。



TT-GE-B03

7. ⑬型紙の破線に合わせ、超音波カッターで切断する。
8. ⑬型紙を剥がす。
9. 手順 4、6 であけた穴及び切断した加工部のバリを取り除く。

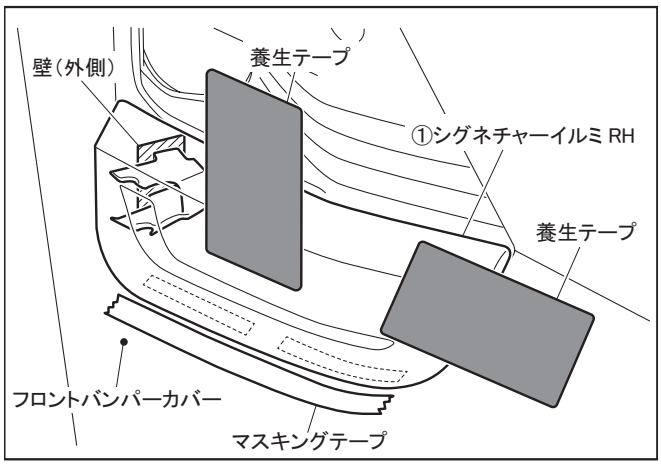
⚠ 注 意

フロントバンパーカバーに付着した切粉は、掃除機等で確実に取り除いてください。

10. LH 側も同様に、穴あけ及び形状カットを実施する。

・プライマーの塗布

1. ①シグネチャーイルミ RH をフロントバンパーの壁（外側）に合わせて養生テープで仮組する。
2. 塗布範囲を確認し、プライマーがはみ出さないよう、周囲をマスキングテープで保護する。



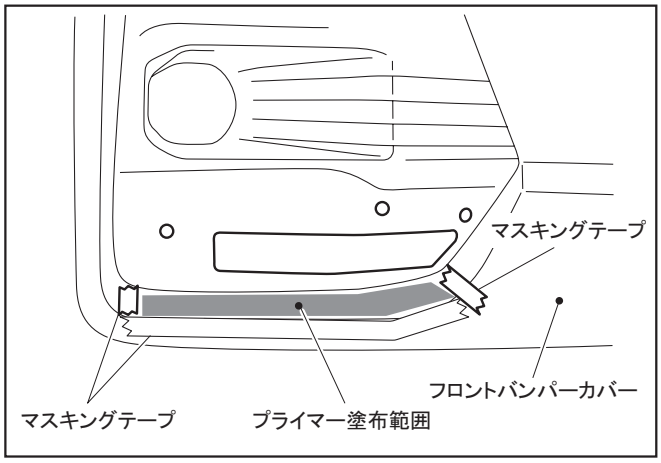
TT-GE-B22

3. 仮組した①シグネチャーイルミ RH を取りはずす。
4. マスキングテープを図に従い手順 2 で貼り付けたマスキングテープの両端に貼り付ける。
5 プライマー塗布範囲をイソプロピルアルコール（IPA）を使用し、一方向に拭いて脱脂する。

アドバイス

脱脂後は、十分に乾燥させてください。

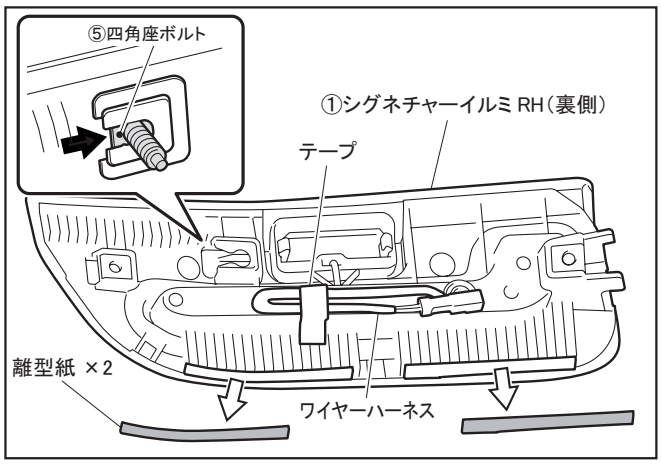
6 プライマー塗布範囲（脱脂した範囲）に⑮ PAC プライマー N210NT を塗布する。



TT-GE-B03

⚠ 注 意

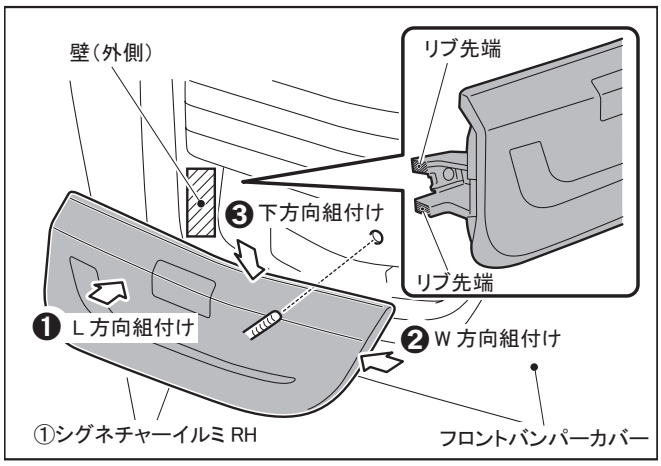
- イソプロピルアルコール（IPA）を使用する際は、火気に充分注意してください。
- プライマー開封前に、必ずプライマー使用要領を読んでください。
- プライマーを塗布する際は、製品からはみ出さないように塗布してください。
- プライマーが塗布範囲外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。付着してしまいますと変色することがあります。



TT-GN-B11

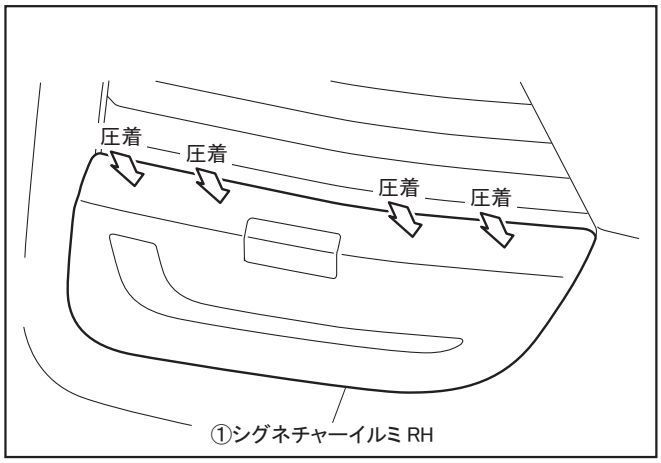
・シグネチャーイルミの貼り付け

1. ワイヤーハーネスを固定しているテープを剥がす。
2. ⑤四角座ボルトを①シグネチャーイルミ RH に取り付ける。
3. ①シグネチャーイルミ RH 下面の離型紙（2 箇所）を剥がす。



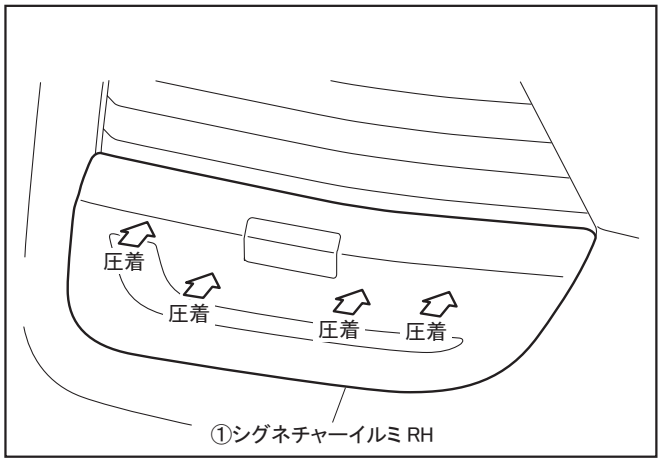
TT-GE-B09

4. ①シグネチャーイルミ RH のリブ先端をフロントバンパーカバーの壁（外側）に合わせて❶❷❸の番号順に従い仮固定する。



TT-GN-B13

5. シグネチャーイルミ RH の上部を上下方向に圧着する。



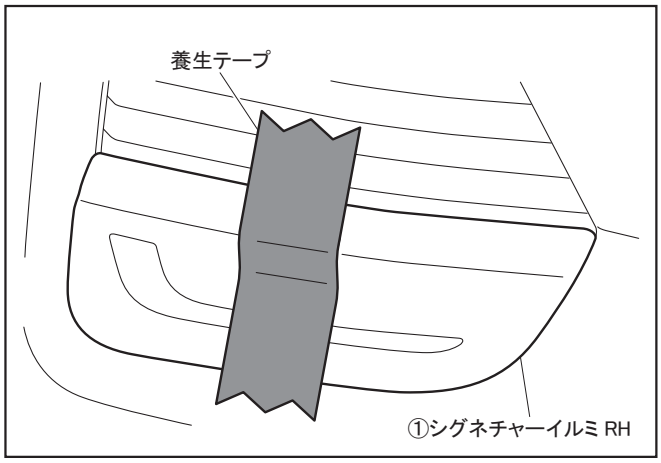
TT-GE-B09

6. ①シグネチャーイルミ RH の製品中央を前後方向に圧着する。

⚠ 注 意

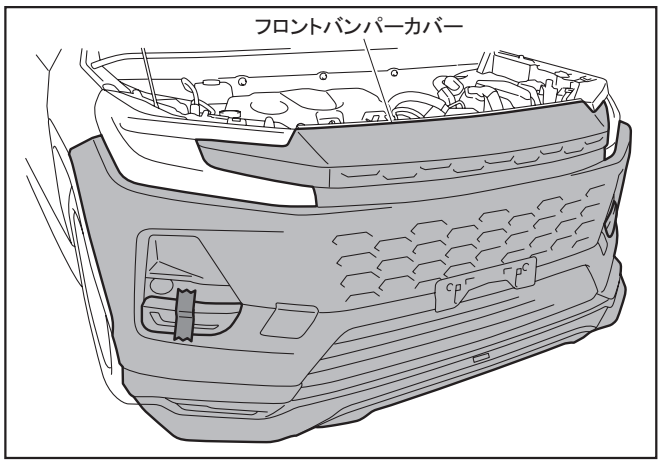
前後方向の圧着が不十分な場合、上下方向にずれが生じます。

7. LH 側も同様に作業する。



TT-GE-B09

8. ①シグネチャーイルミ RH を養生テープで仮固定する。
9. LH 側も同様に仮固定する。



TT-GE-B06

・外装部品の取外し

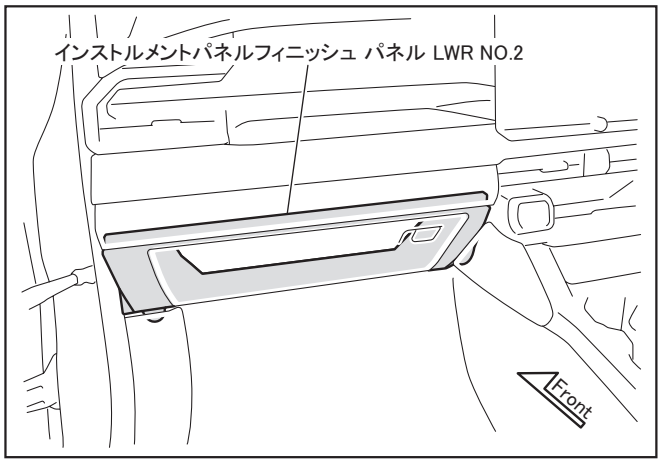
⚠ 注 意

取外しの詳細は、トヨタ自動車㈱発行の修理書を参照してください。

1. フロントバンパーカバーを取外す。

⚠ 注 意

取外した、フロントバンパーカバー、クリップ、ビス等は再使用しますので紛失しない様ご注意ください。



TT-GN-A02

・内装部品の取外し

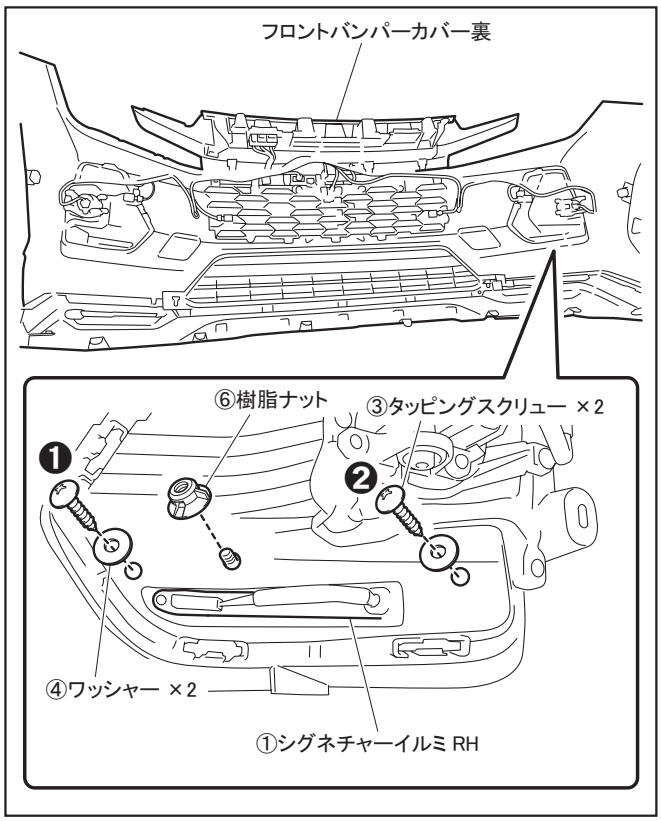
⚠ 注 意

取外しの詳細は、トヨタ自動車㈱発行の修理書を参照してください。

1. インストルメントパネルフィニッシュ パネル LWR NO.2 を取外す。

⚠ 注 意

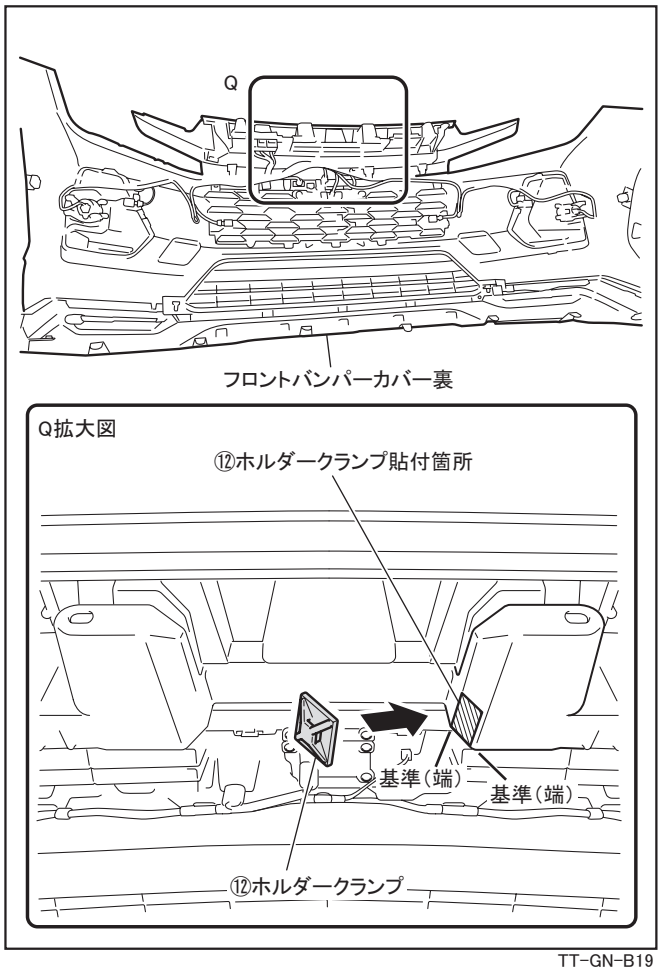
取外した車両部品、クリップ、ビス等は再使用しますので紛失しない様ご注意ください。



TT-GN-B16

・シグネチャーイルミの固定

1. ③タッピングスクリュー（2 本）、④ワッシャー（2 個）を❶❷の番号順に締め付ける。
2. ⑥樹脂ナット（1 個）を押し込む。
3. LH 側も同様に作業する。



TT-GN-B19

・フロントバンパーカバーの配線

1. ⑫ホルダークランプ貼付箇所をイソプロピルアルコール（IPA）を使用し、一方向に拭いて脱脂する。

⚠ 注 意

- イソプロピルアルコール（IPA）を使用する際は、火気に充分注意してください。
- 脱脂後は十分に乾燥させてください。

2. ⑫ホルダークランプ貼付箇所に⑮ PAC プライマーを塗布する。

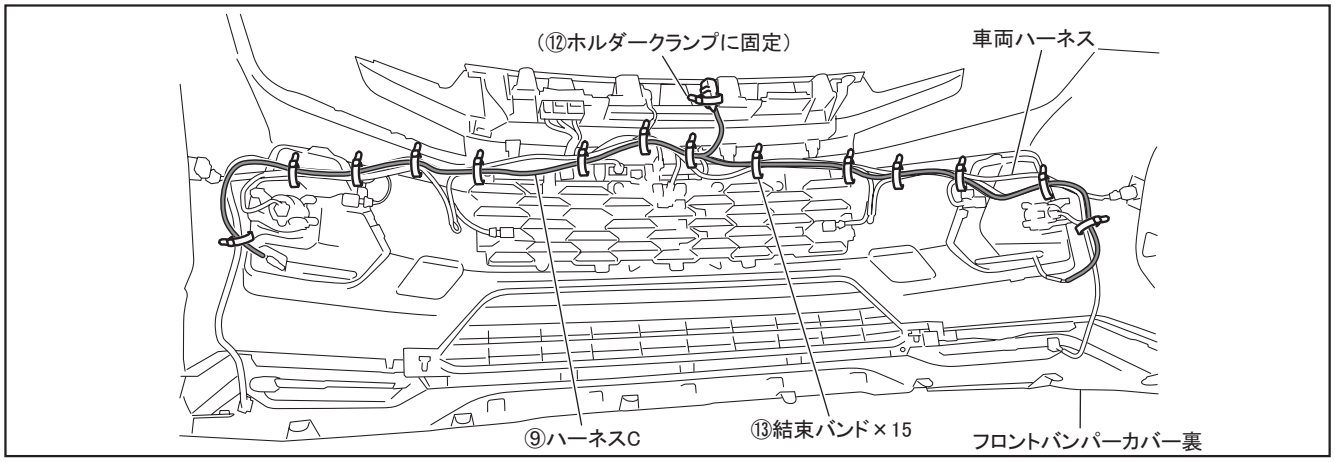
⚠ 注 意

- プライマー開封前に、必ずプライマー使用要領を読んでください。
- プライマーを塗布する際は、製品からはみ出さないように塗布してください。
- 変色するおそれがある為、プライマーが塗布範囲外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。

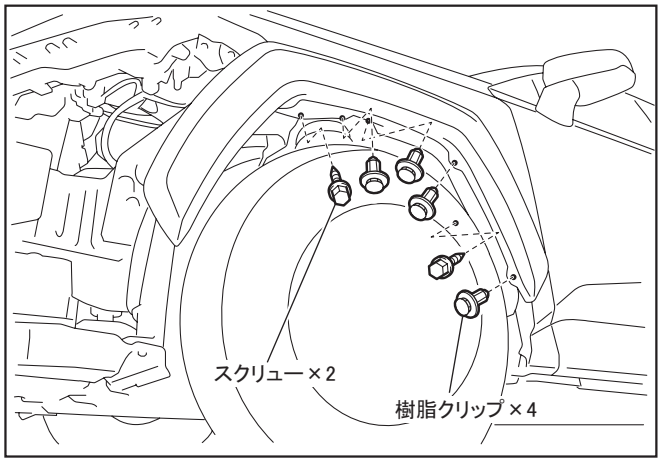
3. ⑫ホルダークランプ貼付箇所に⑫ホルダークランプ（1 個）を貼付ける。

・フロントバンパーカバー裏の配線

1. ⑩結束バンド（15 本）で⑨ハーネス C をフロントバンパーカバー裏に固定する。



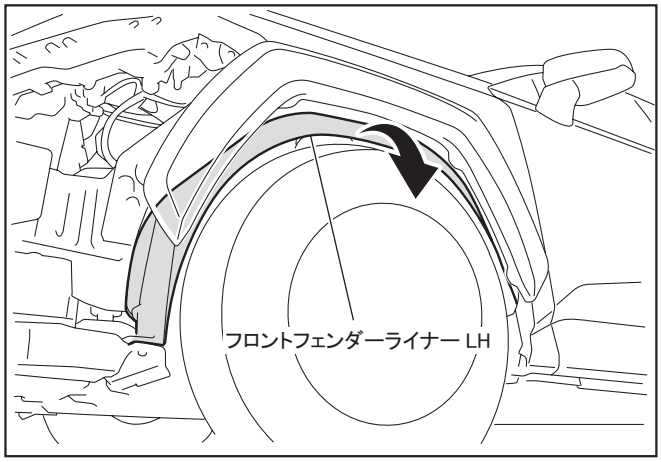
TT-GN-B17



TT-GN-C01

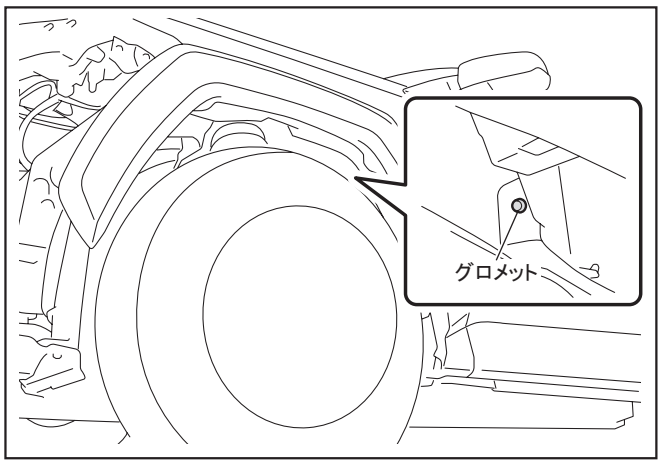
・フロントフェンダー LH ～エンジンルームの配線

1. スクリュー（2 本）及び樹脂クリップ（4 個）を取外す。



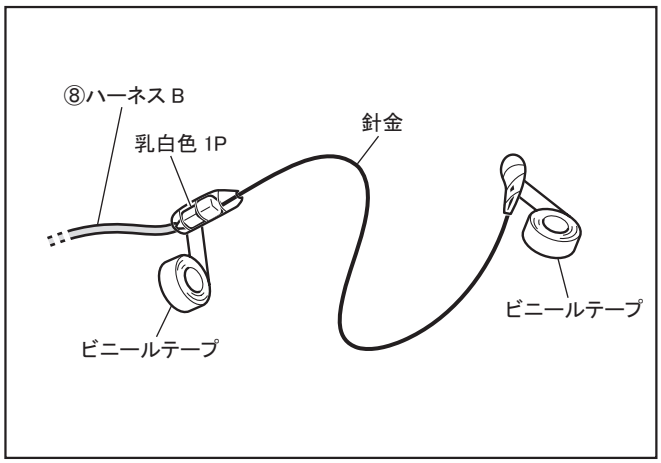
TT-GN-C02

2. フロントフェンダーライナー LH をめくる。



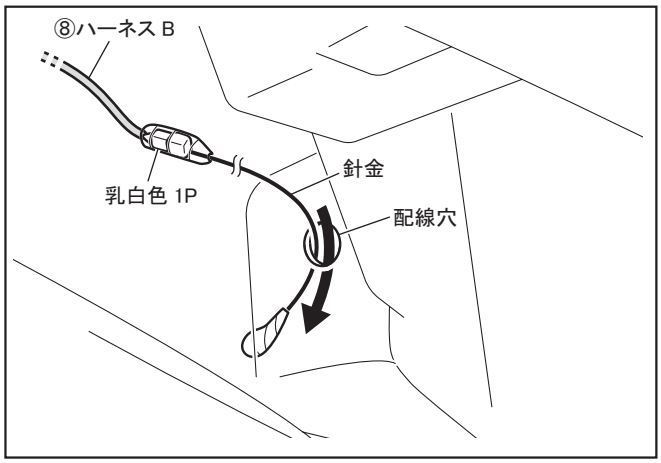
TT-GN-C03

3. 配線穴のグロメットを取外す。



TT-GN-C04

4. ⑧ハーネス B の乳白色 1P コネクターをビニールテープで針金に固定する。
5. 針金の先端を曲げてビニールテープを巻き付ける。

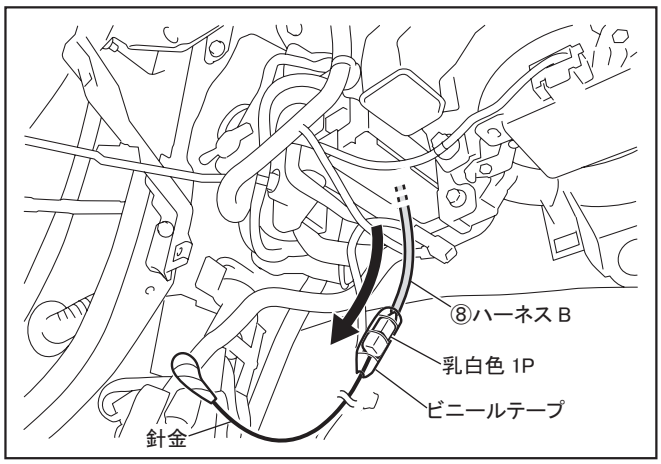


TT-GN-C05

6. 配線穴に針金を挿入し車室内に通す。

アドバイス

車両中央・下方向に向けて針金を通してください。

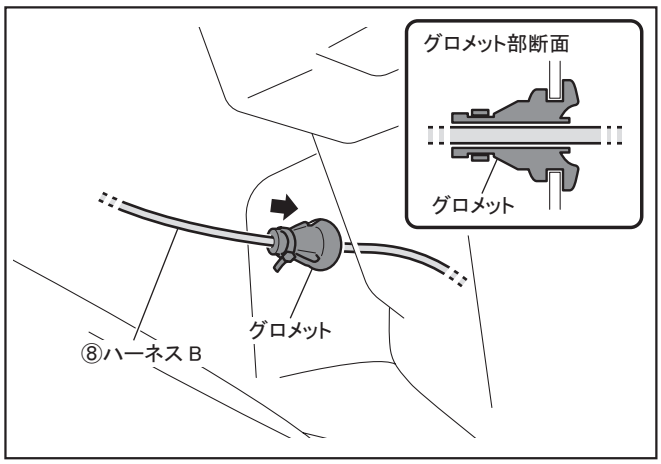


TT-GN-C06

7. ⑧ハーネス B の乳白色 1P コネクターが助手席から出るまで針金を引く。
8. ビニールテープを剥がし、⑧ハーネス B の乳白色 1P コネクターを針金から取外す。

⚠ 注 意

⑧ハーネス B が断線もしくは破損するおそれがあるため、引っ張る際は力加減に注意してください。

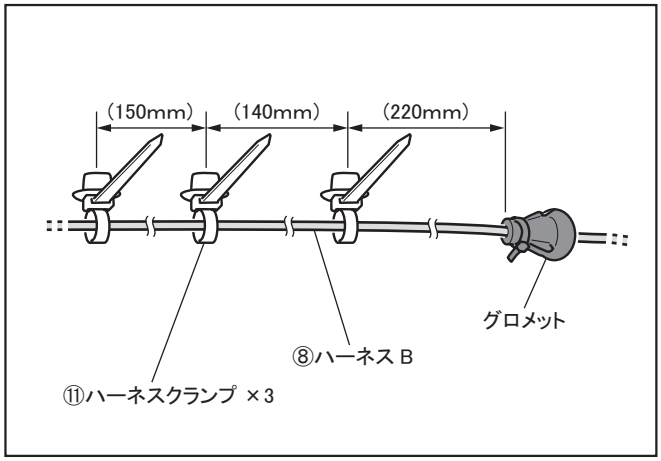


TT-GN-C07

9. 配線穴に⑧ハーネス B のグロメットを取付ける。

⚠ 注 意

車室内への水入り等のおそれがありますので、⑧ハーネス B のグロメットが配線穴に確実に嵌合していることを確認してください。

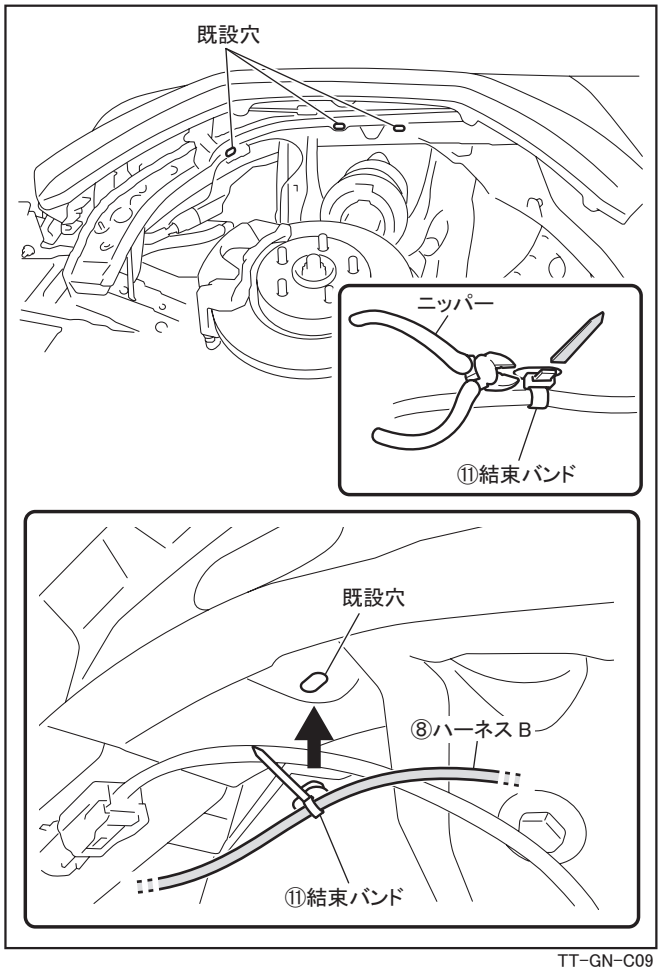


TT-GN-C08

10. ⑧ハーネス B に⑪結束バンド（3 本）を仮留めする。

⚠ 注 意

⑪結束バンド（3 本）は後作業で位置調整するため、まだ締め付けないでください。

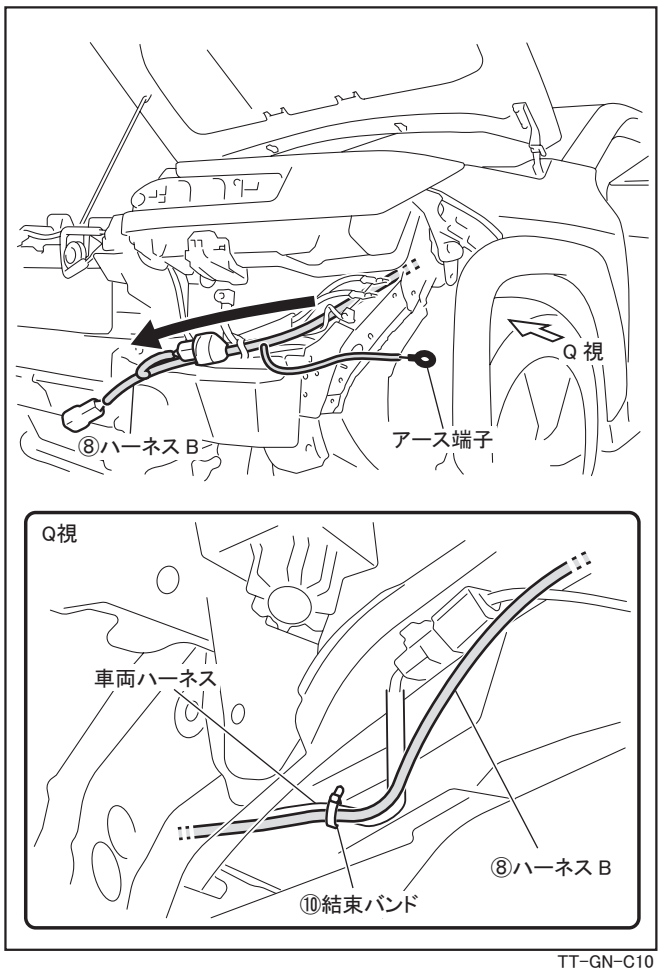


TT-GN-C09

11. ⑧ハーネス B のクランプ（3箇所）をホイールハウス上側の既設穴に固定する。
12. ⑧ハーネス B の位置を調整し、⑪結束バンド（3 本）を締め付け、余った部分をニッパーでカットする。

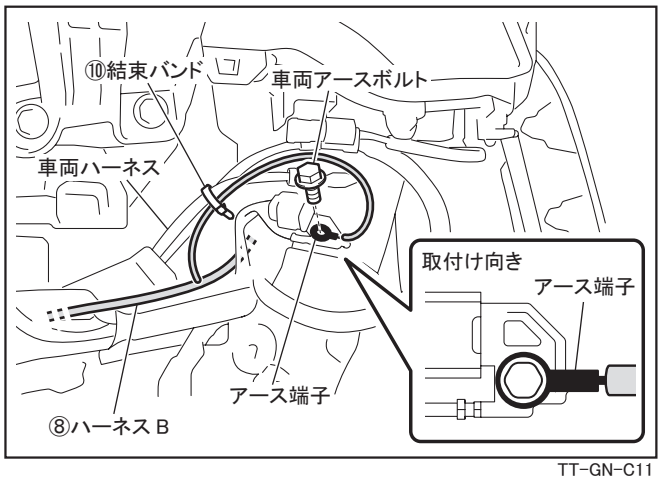
アドバイス

左図はホイールおよびフェンダーライナーがありませんが、実際は装着されています。



TT-GN-C10

13. ヘッドランプ LH の下に⑧ハーネス B を通し、ラジエター前方へ配線する。
14. ⑩結束バンド（1 本）で⑧ハーネス B を車両ハーネスに固定する。

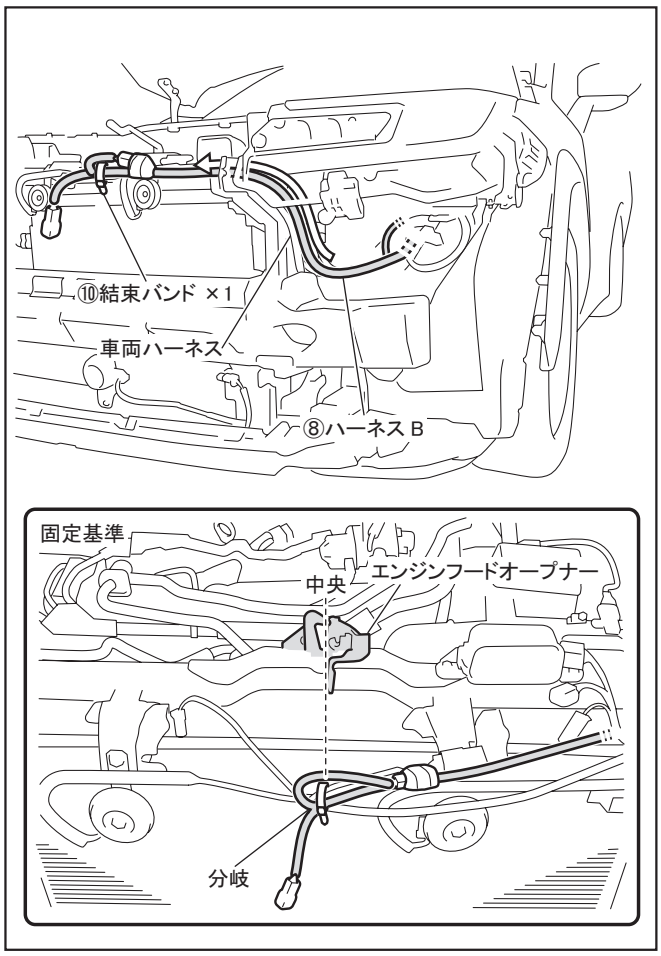


TT-GN-C11

15. 車両アースボルトを取外す。
16. 車両アースボルトで⑧ハーネス B のアース端子を固定する。
17. ⑩結束バンド（1 本）で⑧ハーネス B を車両ハーネスに固定する。

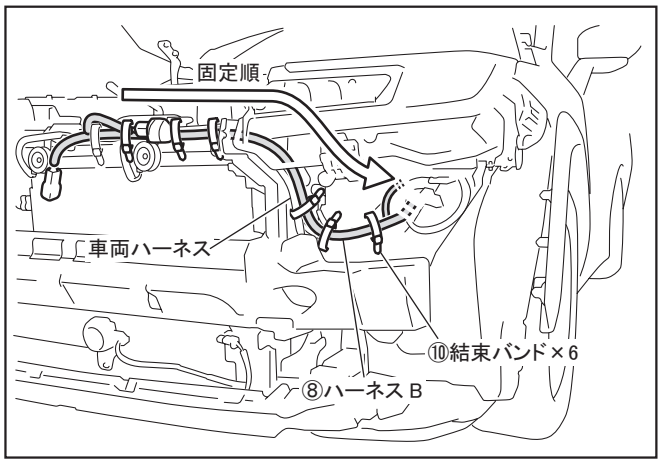
⚠ 注 意

締め付けトルク値は、トヨタ自動車㈱発行の修理書を参照してください。



TT-GN-C12

18. ⑧ハーネス B の分岐位置をエンジンフードオープナー前方へ配線する。
19. ⑧ハーネス B の分岐位置を、エンジンフードオープナーの中央に合わせて、⑩結束バンド（1 本）で固定する。

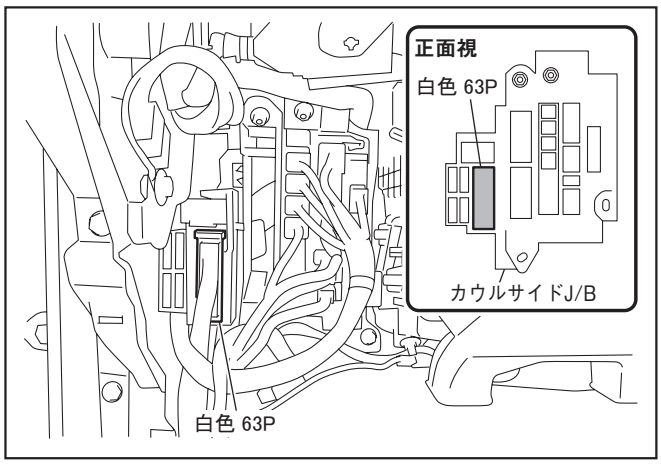


TT-GN-C13

20. ⑩結束バンド（6 本）で⑧ハーネス B を車両ハーネスに固定する。

アドバイス

⑩結束バンド（6 本）は、図中※で示す⑩結束バンドから車両外側に向かって固定するとゆるみが発生しません。



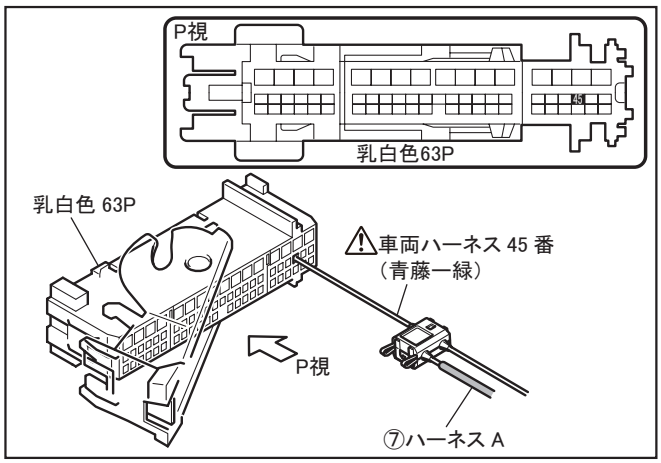
TT-GN-C14

・助手席の配線

1. インパネ助手席側 J/B の白色 63P コネクターを外す。

アドバイス

周辺コネクターを外すと、以降の作業がしやすくなります。



TT-GN-C15

2. 白色 63P コネクターの 45 番（青藤－緑）に⑦ハーネス A の分岐コネクター（黒）を接続する。

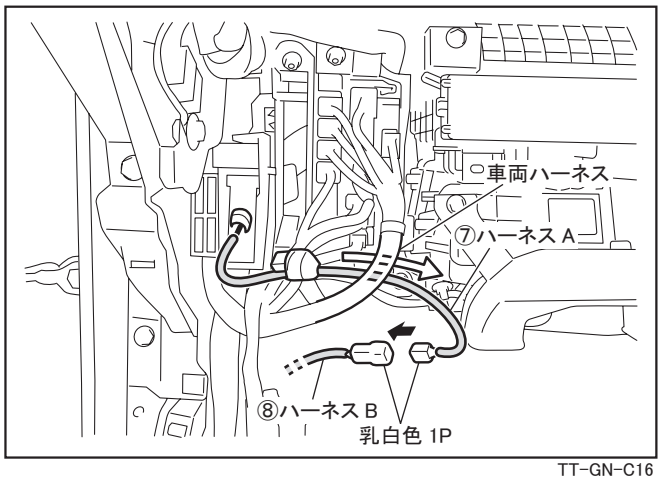
アドバイス

分岐コネクターの接続方法は、本書冒頭の【■分岐コネクターの接続方法】を参照し、正しく取付けを行ってください。

3. 白色 63P コネクターを復元する。

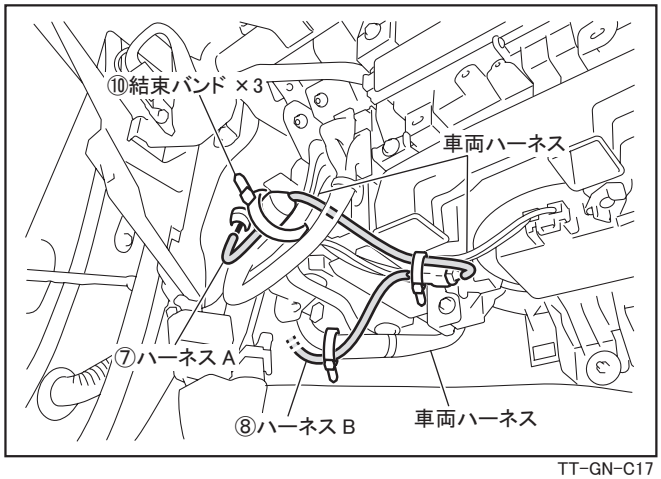
⚠ 注 意

周辺コネクターを外した場合、復元してください。



TT-GN-C16

4. ⑦ハーネス A を車両ハーネスの車両前側に通す。
5. ⑦ハーネス A と⑧ハーネス B の乳白色 1P コネクターを接続する。



TT-GN-C17

6. ⑩結束バンド（3 本）で⑦ハーネス A 及び⑧ハーネス B を車両ハーネスに固定する。

■ 車両部品の復元

1. 該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、フロントバンパーカバーを車両に復元する。
2. ハーネス B をハーネス C に接続する。
3. 該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、インストルメントパネルフィニッシュ パネル LWR NO.2 を車両に復元する。

■ 取付け完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びシグネチャーイルミに傷が付いていないことを確認してください。

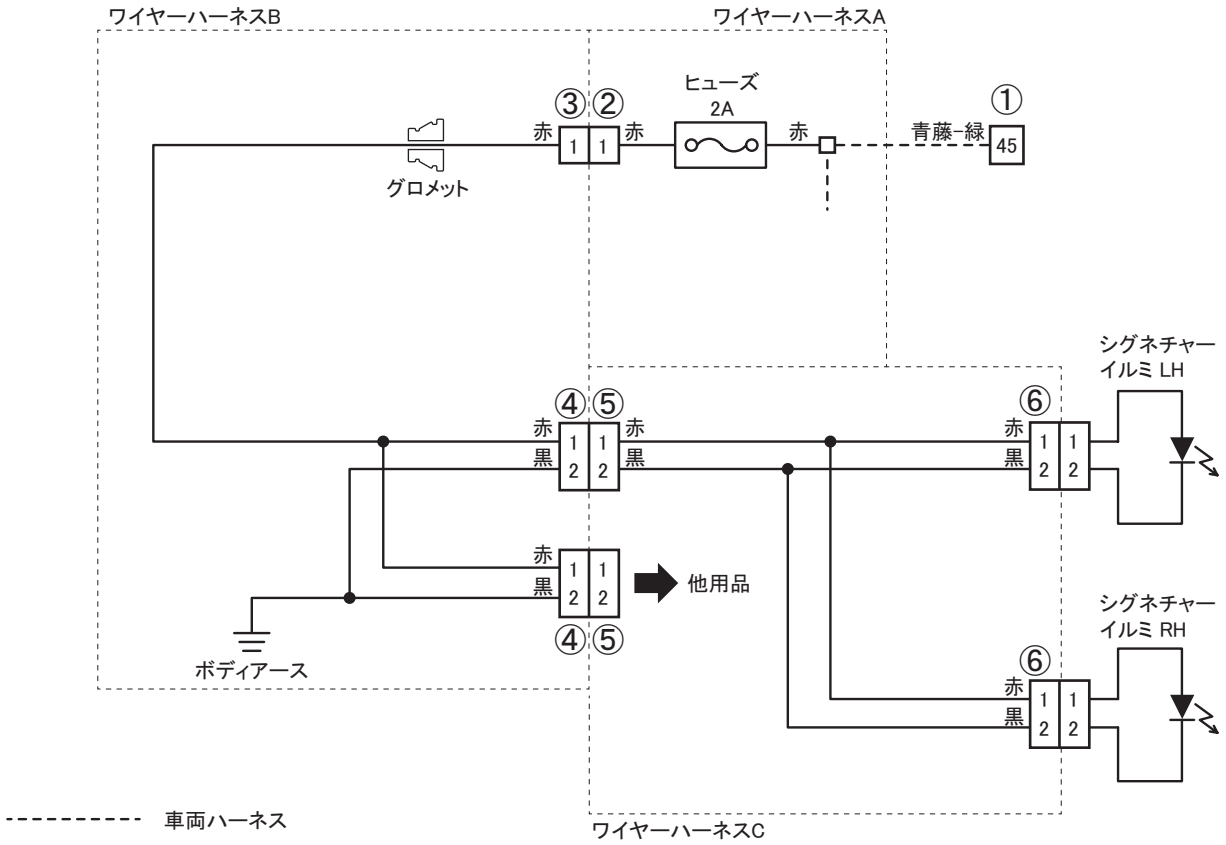
⚠ 注 意

特に指示のない限り、取外した車両部品は再使用しますので、紛失しないよう整理してください。

アドバイス

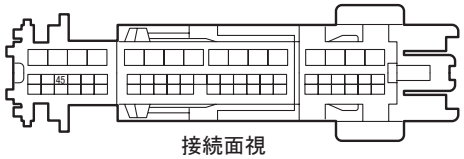
両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が掛からないように、
オープンタイム（静止時間）お取りください。

■ 回路図



車両側システム配線の詳細は、
各車両の配線図集を参照してください。

① 車両 63 極コネクター（白色）



接続面視

② 1 極コネクタ
（メス）（乳白色）



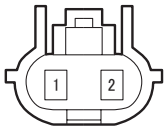
接続面視

③ 1 極コネクタ
（オス）（乳白色）



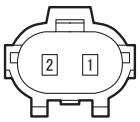
接続面視

④ 2 極コネクタ
（メス）（灰色）



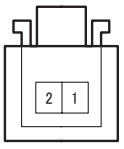
接続面視

⑤ 2 極コネクタ
（オス）（灰色）



接続面視

⑥ 2 極コネクタ
（メス）（乳白色）



接続面視

株式会社 トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
MODELLISTA 商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-1000
https://www.modellista.co.jp/

脱脂作業要領書

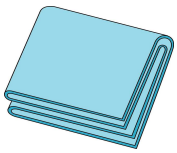
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

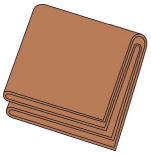
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

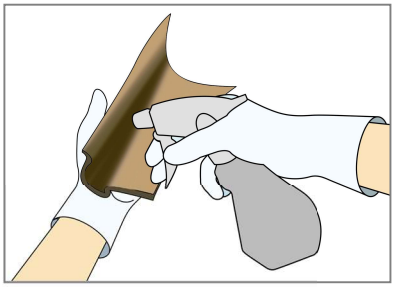

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

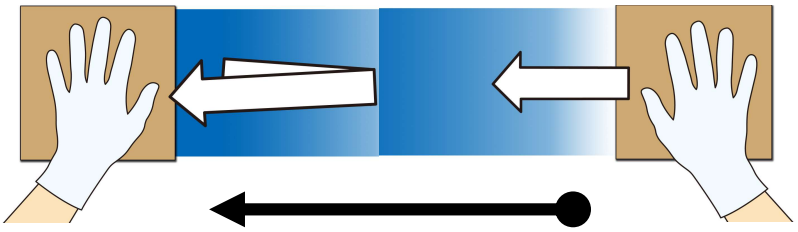


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

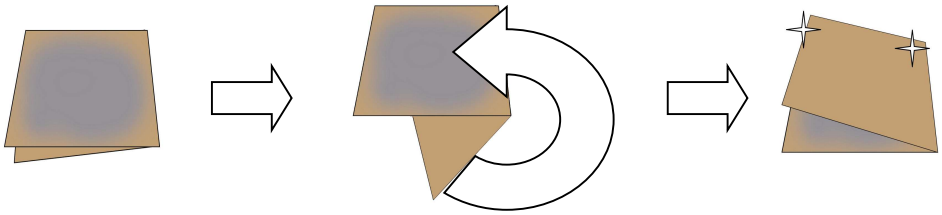
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。